

議 事 録

会 議	長野市中心市街地活性化協議会 第十回運営会議
議 事	<ul style="list-style-type: none"> (1) 運営委員の委嘱及び会長・副会長の選出について (2) 平成 19 年度長野市中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告 (3) 中心市街地調査の実施について (4) その他
日 時	平成 20 年 10 月 23 日 (木) 10:00～12:15
場 所	長野商工会議所会議室 (2 階)
出席者 (敬称略)	<p>(運営委員)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)まちづくり長野 北村正博 (会長)、田中安彦 ・長野商工会議所 渡辺晃司 (副会長) ・長野市役所 伝田耕一 (都市整備部長)、米倉秀史 (産業振興部長・代理 島田課長) <p>(タウンマネージャー)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)まちづくり長野 越原照夫 <p>(事務局)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・(株)まちづくり長野 紅粉康弘 <p>(市担当課)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちづくり推進課 横山課長、宮下室長、長谷川主査 ・商工振興課 島田課長、櫻井補佐、坂口係長、北原係長 <p style="text-align: right;">【計 13 人】</p>
資 料	<ul style="list-style-type: none"> ①会議次第 ②協議会運営委員名簿 (平成 20 年 10 月 23 日現在) ③平成 19 年度長野市中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告【資料 1】 ④「長野市中心市街地における空き店舗調査」の実施について【資料 2】 ⑤「長野市中心市街地における拠点施設来店者調査」の実施について【資料 3】
内 容	<p>■運営委員の委嘱及び会長・副会長の選出について (副会長・会長代理)</p> <p>・去る 6 月 27 日の(株)まちづくり長野の株主総会にて、長野商工会議所の前専務理事の塚田氏と前副会頭の青木氏が(株)まちづくり長野の役員を退任したことに伴い、当協議会の運営委員からの退任届けが提出された。後任には、(株)まちづくり長野からは長野商工会議所の副会頭でもある北村正博氏、長野商工会議所からは常務理事の今井克明氏の 2 名が運営委員として委嘱されたので運営委員の皆様にご報告申し上げます。</p>

・次に、当協議会の会長及び副会長が不在となっているため、この運営会議ではかりたい。皆様の意見はあるか。

・特に意見がないようであれば、事務局案はあるか。

(事務局)

・規約第 14 条により協議会の会長は正会員から選出、副会長は正会員又は準会員から選出することとなっている。これまでの活性化協議会は正会員である(株)まちづくり長野と長野商工会議所から会長・副会長が選出されているため、事務局案として、(株)まちづくり長野取締役の北村副会頭に会長を、今井常務理事に副会長とする案を提案する。

(副会長・会長代理)

・事務局案について出席委員全員の賛同が確認されたため、事務局案どおり決定する。

—議長交代—

■新会長あいさつ

・北村会長

■平成 19 年度長野市中心市街地活性化基本計画のフォローアップに関する報告

(長野市まちづくり推進課)

・中活基本計画フォローアップの報告【資料 1】について説明。

・基本計画に掲げた数値目標の最新値 H1 9 年実績を説明。

・歩きたくなるまち以外の 4 項目の目標はおおむね予定どおり進捗しており、目標達成と見込まれる。

(A 氏)

・この目標の達成状況に関する見通しの 4 段階評価は誰が行っているのか。

(事務局)

・ 8 名からなる評価委員会で評価している。

(B 氏)

・目標の歩きたくなるまちについては富山でも減っていると聞く。どこも歩行者通行量の上昇には苦戦している。

■中心市街地調査の実施について

○「長野市中心市街地における空き店舗調査」の実施について

(事務局)

・「長野市中心市街地における空き店舗調査」の実施について【資料 2】に基づき説明。

・昨年実施した「中心市街地における業種業態調査」の継続調査として、今年度は特に空き店舗について昨年度の結果を元に現地調査を行い、その調査結果を空き店舗情報として専用のホームページに掲載する。

・調査委託業者については、昨年「業種業態調査」を実施した(株)KRC に業務委託することで、昨年の調査時に作成した地理情報システム (GIS データ) の活用ができ、また

「業種業態調査」でのノウハウが生かせるなど、費用及び時間の縮減が図れる。

- ・空き店舗情報の専用ホームページの作成については、空き店舗の解消には中心市街地に出店を検討している事業者の利便性を高めるための情報発信が最も有効の手段であると考え、今回の調査結果の成果品を中心市街地の空き店舗情報専用のホームページという形で作成するものである。

(C氏)

- ・この調査では、なぜ空き店舗になったかという理由の調査は必要ではないのか。

(事務局)

- ・以前、経産省の空き店舗調査で理由を調べたことがあるが、空き店舗の理由は千差万別で統計を取ることが難しい。そのため今回の調査では理由の調査よりも空き店舗の実質的な解消のための情報公開に力を入れようとするものである。

(D氏)

- ・空き店舗の問題は自給のバランスや事業承継の問題もあり難しい課題である。
- ・不動産会社との連携により空き店舗情報を更新していくとあるが、不動産会社がうまく情報を流してくれるのかその点が心配だ。

(事務局)

- ・調査を行うにあたり不動産関係者を集めた意見交換会を実施する予定である。

(会長)

- ・以上の委員の意見を参考に、空き店舗の調査事業を実施するようにお願いします。

○「長野市中心市街地における拠点施設来店者調査」の実施について

(事務局)

- ・「長野市中心市街地における拠点施設来店者調査」の実施について【資料 3】に基づき説明。昨年実施した「来街者調査」に続き、今回は中心市街地の核となる拠点施設、大型小売店や補助金や再開発で整備した施設の消費者動向調査を実施。
- ・来店者の意見を調査することで各拠点施設やその周辺地域がより魅力的な施設となるための参考資料を作成。
- ・本日の運営会議では調査委託業者の選考を行うため、昨年の「来街者調査」でプロポーザル方式により選考した調査会社のうち、技術点の評価が高かった上位3社について今回の「来街者調査」のプレゼンテーションを行ってもらおうもの。

※事業概要説明と調査委託業者をプロポーザル方式により選考するため、3社によるプレゼンテーションを実施。

※各社10分間のプレゼンと質問時間を約5分間

※審査は運営委員5名とタウンマメジャーの計6名。技術点100点・価格点50点の計150点満点で採点。

※審査結果は後日集計し、会長及び各運営委員に通知するもの。

以上